

## 活動報告書

団体名	つなぐCHIBAプロジェクト
実施事業	学習会「被災地の現状と今後、必要とされる支援」の開催および現地団体の活動支援事業
実施期間	2019年10月20日～12月20日
助成金額	100,000円

### 実施した事業の内容・成果

#### ①学習会の開催

##### <実施内容>

##### ・学習会開催広報

11月下旬 Facebook ページ、ブログを立ち上げた。11/20 県内 NPO で防災・災害対応活動についての意思表示をしている 135 団体に、はがきで開催案内を送付した。

##### ・学習会開催概要

2019年12月7日（土）14：00～16：30 千葉県社会福祉センター会議室にて、NPO、社協、行政職員等、関心のある市民を対象に開催した。

参加者数は、31名（関係者含む）、内訳は県内外支援団体メンバー、NPO等メンバー、社協職員、関心のある市民。

主催：つなぐCHIBAプロジェクト

共催：NPO 法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ

協力：千葉県、（社福）千葉県社会福祉協議会、NPO 法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク、千葉県災害ボランティアセンター連絡会

##### <実施詳細>

下記3名の講師からの活動報告をもとに、参加者で意見交換し、今後の支援活動について考察した。

・台風豪雨被害・被災家屋の対応を学ぶ 小林直樹さん（風組関東代表）

・大房岬自然の家の被災状況と取組みについて 白井健さん（大房岬自然の家副センター長）

・ブルーシート展張、倒木の処理等、生活再建ニーズへの対応について 加納基成さん（千葉南部災害支援センター）

・参加者情報交換〈ボランティアマッチング〉

#### ②被災地情報交換と明治ホールディングス株式会社のお菓子の寄贈

NPO クラブを通して県内で被災地支援活動を行っている団体へのお菓子の寄贈（日本 NPO センターを窓口として明治ホールディングス株式会社）から障がい児支援および被災地支援活動団体へ4～5万円のお菓子のセットの寄贈を受けている）を行うとともに、現地状況の把握と今後の支援活動についての情報交換、課題共有を行った。

・12/16 宅急便にて、2 団体（nigiwai（富津市）、おせっかい（館山市））にお菓子を送付した。

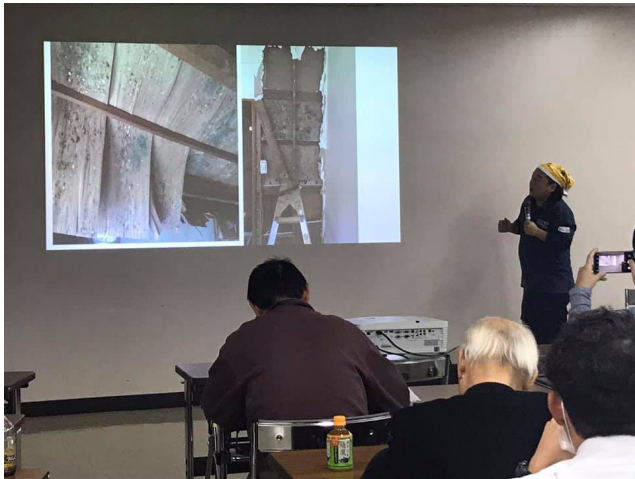
・12/19 千葉南部災害支援センターへお菓子を届けるとともに、情報交換、課題共有を行った。

・12/19 大房岬自然の家にて、現地状況の把握と今後の支援活動について、意見交換した。

## <成果>

被災から約3カ月経過しても、困難な状況にある被災地の状況についての共有ができたこと、今後の支援活動について考える場を設定できたこと。明治ホールディングス株式会社のお菓子の提供を通して、現地団体との情報交換ができたこと等、今後の具体的な活動に向けての一步となった。

## 活動の様子



決算報告

収入

費目		金額(円)
2019 千葉県台風・豪雨災害支援基金助成金		100,000
その他		0
収入合計		100,000円

支出

費目	算出根拠	金額(円)
送料	はがき 63円×135枚、宅急便 4,422円×2回	17,349
謝金	学習会講師 3名分	50,000
交通費	講師交通費 4,978円 12/19交通費 5,600円	10,578
印刷費	チラシ(300枚)印刷費、はがき印刷費、資料印刷費	5,000
雑費	コピー用紙ほか	1,473
人件費	@1,200円×13h	15,600
支出合計		100,000円

寄付者へのメッセージ

被災から半年を過ぎた今も、倒木等の被害や損壊した家屋で不自由な生活を送っている人たちがたくさんいます。私たちにできることは何か、被災地の状況を共有し、生活上の課題と必要とされる支援について、考え合う場を設定することができました。学習会参加者アンケートには、「顔を合わせることの大切さを再確認した」「地元の人たちが今後の千葉を支える担い手になっていくことが不可欠」といった回答がありました。被災地である千葉南部では高齢化が進み、活動する団体も多くはありません。引き続き、情報共有の場を設定するとともに、これまで、支援活動に参加することのなかった県内の団体が参加できるような具体的な活動の場を設定したいと思います。学習会の講師謝金や被災地との往復のための交通費等に充当する資金があることで、円滑に活動できました。寄付いただいた皆様に改めて感謝します。

今後の活動

県内 NPO メンバーをはじめ多くの人たちに、被災地の状況を伝え、復旧、復興活動に参加してもらう機会を継続的に設定することで、被災地の復旧、復興活動を支えていきたいと思っています。また、千葉南部災害支援センターを拠点として、現地の NPO 等との連携、協力を進めていけたらと思います。